

調和の中で 豊かに実るまち

◎豊かな自然との調和 ◎住民参加
◎生きがいとやすらぎのある暮らし
＜阿久比町第4次総合計画の目標＞

町民の声がとどく、阿久比のまちづくりを 半田との合併は町民のためになるか

日本共産党町議 は合併協設置に反対

賛成4名、反対13名で否決されました

8月17日から20日まで、阿久比町臨時議会が開かれ、提出された住民請求にもとづき「半田市・阿久比町合併協議会の設置」について審議。賛成少数で否決されました。日本共産党の杉野あきら議員、枅内みどり議員の議会で議論をもとに、今回の合併問題についての論議を紹介します。

住民不在の合併協設置請求

◆合併協設置の請求者は、「総務省合併推進室へ出向き、国の考えを聞いてきたが、阿久比町単独での行政は非常に困難である」「知多半島にあつて財政面でも、広域行政の面でも孤立化する」と主張しています。

◇しかし、これらの主張の根拠になる問題や数字は示されていません。また、半田市と合併する意義や「まちづくり」のビジョンもありません。

半田市の臨時議会では、市長が合併協設置に賛成の意見を添えて議会にはかり、賛成多数の議決でしたが、市長からは合併の意義も理念も語られませんでした。あえて述べられたのは「次の2市4町合併へのステップとして」ということでしたが、合併を重ねて、そのたびに市庁舎もかわり、市の名前も変わって、巨額の費用がかさむことのデメリットは重大です。

「2市4町がだめなら、せめて1市1町で」と合併が自己目的化し、住民の暮らしや地方自治が語られない住民不在の論議ではこまりません。

合併しないとやっていけないか

阿久比町は充分健全な財政状況です。
【財政力指数】は0.7で、これは町村の全国平均0.33を大きく上回り、市の全国平均0.67も上回ります。

【経常収支比率】(市町村税や地方交付税など経常的な一般財源が、人件費・公債費等の義務的な経常経費にあてられる割合)は、阿久比は近隣市町でもっとも低い73.0で、半田は87.7です。数字が低いほど臨時に予算の必要な事業が発生しても柔軟に対応できるということになります。

【公債比率】(地方債+借金+返済額が一般財源に占める割合)は、阿久比7.0で、半田は14.6にもなりません。【地方債残高】は、住民一人あたりで阿久比が32.4万円に対し、半田は83.5万円です。これでは、半田市の借金と財政困難を阿久比がかかえこむことにもなりかねません。

合併特例債などの「優遇措置」は大いに疑問

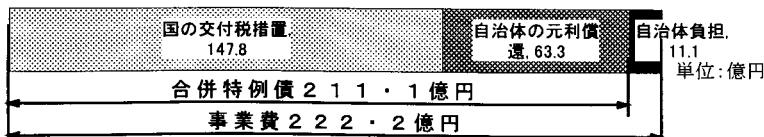
合併協設置の請求者は、合併特例債について、誤った認識で「合併特例法の期限の来年3月までに議決しないと一円ももらえず大損をする」と町民を誘導しています。

この方たちは、合併特例債を「補助金」と説明していますが、下表のとおり、合併特例債の211億円のうち、30%の63億円は借入金です。さらに、半田市は今年から不交付団体となり、下表の「国の交付税措置」となっている147億円も交付されなくなる場合もあります。その場合は、さらに借金が增えることになり、合併の財政的メリットはなにもありません。

住民の暮らし第一で、阿久比町のまちづくりを考えよう

合併で大きくなれば、財政は豊かになるかのように言われますが、合併したからといって財源が無制限にできるわけはありません。市域が広くなれば、新市計画で大規模な投資もされ、それらの市債(借金)も増えます。しかも半田市は

「知多半田駅前整備」など大規模事業が目白押しであり、阿久比が独自にすすめているまちづくりのビジョン(阿久比町第4次総合計画)も、これまで住民とともにつくってきた多くの実績もなく、半田に埋没することにもなりかねません。



2004年9月 No.174 (1)
＜発行＞日本共産党阿久比町委員会
連絡先:TEL48-0567